



THE ROTARY CLUB OF MIYOSHI CHUO

三次中央会報 ロータリークラブ

事務所 / 広島県三次市十日市東 1-16-19
TEL (0824) 64-1245
FAX (0824) 64-1245
E-mail m-c-rc@vega.ocn.ne.jp
http://mcrs.server-shared.com
例会場 / 広島県三次市十日市南 1-10-1
三次グランドホテル
例会日 / 月曜日 12:30~13:30

2022-2023 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710

■本日のプログラム 国際奉仕委員会 ロータリー財団担当
ゲスト講演 地区R財団委員 明山晃映様

■次回例会日時 2022年11月14日(月) 12:30~

■次回プログラム 会員増強委員会 ゲスト講演
信金中央金庫 荒場 糧 様
あらば りよう

会長 / 沈 勝 義
幹事 / 中 島 清 貴

●2022~23年度 国際ロータリーのテーマ



●2022~2023年度 三次中央RCスローガン
ロータリアンであることを強くイメージし、奉仕の喜びを分かち合おう

■第1363回例会記録

- 日時.....2022年10月31日(月) 19:00~
- 点鐘.....会長
- 国歌「君が代」斉唱.....全員
- ソング「奉仕の理想」.....全員

■開会挨拶.....沈 会長

10月は米山月間です

皆さんこんばんは。今日は7月の最終例会以来となる、今年度2回目の夜間例会です。毎月1回は夜間例会にしたいと考えておりましたが、8月から、またもや増加し始めたコロナ感染拡大により、楽しみにしていた夏の家族会が中止となり、9月もやはりコロナの影響でプログラムの変更を余儀なくされ、最終例会がガバナー補佐の事前訪問となったため昼例会といたしました。

これからも引き続き、可能な限り毎月の最終例会を夜間例会として実施し、お昼の例会に参加されにくい方との交流を図りたいと考えていますので、皆様方も積極的なお声かけをお願い致します。

さて、今月は米山月間ということで、本日のプログラムは国際奉仕委員会担当による、米山記念奨学会についてのビデオ学習となっています。担当されている酒井会員には後ほどよろしく願いいたします。

釈迦に説法とは思いますが、ここであらためて米山記念奨学事業について少し触れたいと思います。公益財団法人ロータリー米山記念奨学会が運営する事業で、日本で学ぶ外国人留学生に奨

学金を支給し、支援することにより、日本と世界との平和の懸け橋になる人材を育成することを目的としています。

この事業は1952年に、東京RCの古澤丈作(じょうさく)会長が発表した「米山基金」が始まりです。日本のロータリーの創始者である故・米山梅吉氏の生前の功績を讃え、後世まで残るような有益な事業として、海外から優秀な学生を日本に招き、勉学を支援する奨学金制度として東京RCが設立しました。

その背景には、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、「平和日本」を世界に伝え、国際親善と世界平和に寄与したいという、戦後のロータリアンたちの強い願いがありました。

米山梅吉氏とは1868年に東京で生まれ、19歳で渡米。帰国後三井銀行に入行され、その後、遣米使節団の一員としてアメリカ滞在中に、ダラスRCの会員だった福島喜三次氏と出会い、1920年、



本日は、米山記念奨学会と、米山親善大使についての動画を見ていただき、理解と認識を深めていただきたいと思います。じっくりご覧になってください。

国際奉仕委員長 酒井正治



米山記念奨学会活動紹介

世界に誇れる奨学制度



米山奨学事業は、日本最初のロータリークラブの創立に貢献した実業家米山梅吉氏の功績を記念して発足しました。1952年に東京ロータリー・クラブで始められたこの事業は、やがて日本の全クラブの共同事業に発展し、1967年、文部省(現在の文部科学省)の許可を得て、財団法人ロータリー米山記念奨学会となりました。

その特徴的な制度が「世話クラブ・カウンセラー制度」です。米山奨学生には、地域のロータリークラブから「世話クラブ」が選ばれ、会員の一人が「カウンセラー」となって、日常の相談相手や交流の橋渡し役となります。

奨学生は毎月1回以上、世話クラブの例会や奉仕活動に参加し、大学生活では得られない出会いと交流を通じて、日本の心、ロータリーの心を学びます。会員にとっても、多様な文化や価値観への理解を広げる機会になっています。



米山親善大使 イヨンエ 李英愛さん

日本と韓国の架け橋として



イヨンエさんは韓国出身。日本文学を専攻し、北海学園大学大学院に留学。2002～05年札幌南RCの米山奨学生となる。

「米山奨学生に受かった時、これからは勉強に集中できると嬉しかった。経済的な余裕だけでなく、それ以上のものを奨学会からはいただいた。」

米山奨学生時代から日韓ロータリークラブの橋渡し役を担い、韓国の3700地区と姉妹地区になってからは通訳として毎年の相互訪問の時はいつも同行していた。現在は母校の北海学園大学非常勤講師として日本人学生への韓国語講座を担当している。

2015年、札幌南ライラックロータリー衛生クラブの創立会員となる。

「ロータリーという組織にお世話になった立場から今は自分も仲間になって、一緒に活動ができるということに感謝して、皆さんの期待に答えられるよう、記憶に残る卓話ができるよう頑張りたいと思います。」

